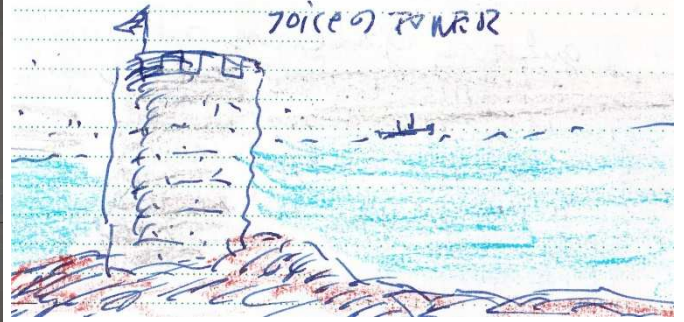
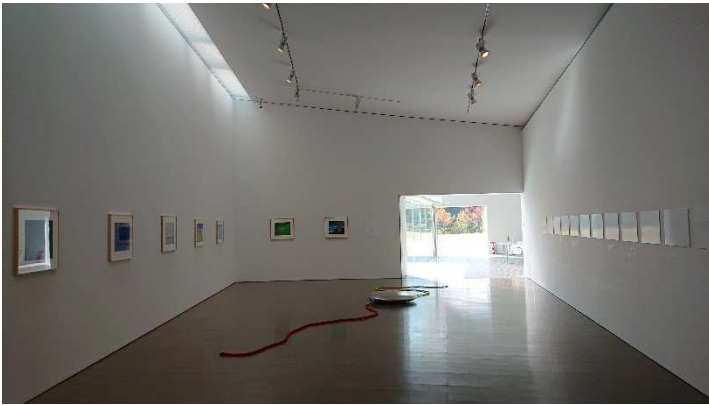
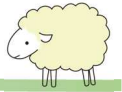


# 『アイランド／アイスランド紀行・詩集』展

2021年11月～2022年6月予定



『voice of the TOWER』日記より 1999年

## 飯田 善國 (いいた よくに)

## アイランド・アイスランド



1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956(昭和31)年、小説家野上彌生子との縁でローマに留学し、フアツツイーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。

飯田は生涯でアイランドを1回、アイスランドを2回訪れました。筆まめで何でもとっておいたため、たくさん日記、新聞の切り抜きやチケットの半券などが残っています。

1999年8月下旬、飯田が友人や知人に会うためにアイランドを2週間ほど訪れた際、風景や日常を感性豊かな詩と絵にしました。今回の展示は、その時に書かれた詩と水彩画が中心となっています。

もともと、友人たちに会うという目的は、バカンスで留守にしている人も多く、あまり果たせなかったようですが。

2021年11月

その後ウィーンに移り1959(昭和34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンや東ベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で国内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997(平成9)年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。『ピカソ』(岩波書店2000年[1983年の再刊])等、著作も多い。

2006(平成18)年逝去。[享年82歳]

## TRIAD IIDA-KAN

2002(平成14)年、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの敷地内に飯田作品を集めたIIDA-KANをオープン。

2018(平成30)年より運営組織を公益財団法人ハーモニック伊藤財団に変更。同年、同敷地内にある榎文彦氏設計の3棟の建築群「TRIAD」とあわせ長野県から博物館法の登録を受ける。



- 開館時間：午前10時～午後4時・無休(臨時休館有)
- 交通：[電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分 [車]長野自動車道安曇野インターより20分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧1856-1  
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA-KAN  
TEL 0263-83-6800(代)  
<https://www.harmonicito-f.or.jp/>



公益財団法人 ハーモニック伊藤財団

TRIAD IIDA-KAN

AZUMINO ART LINE  
安曇野アートライン  
当美術館は安曇野アートラインに参加しています